

大 学 院

博士前期課程・博士後期課程

理 工 学 研 究 科

学際・融合科学研究科

総合情報学研究科

入 学 試 験 要 項

2017/2018

※ 2018年4月より、総合情報学研究科総合情報学専攻を新設します。

- ・学内推薦の入学試験要項は、成績基準確認後に対象者へのみ配布します。
- ・本要項には、出願から入学手続までのすべての事項が記載してあります。出願前に必ず確認し、不備のないよう十分に注意してください。
- ・なお、本要項の内容等に変更・訂正等が生じた場合および、大規模な自然災害等の特別措置が新たに生じた場合は、本学ホームページに随時掲載します。
- ・大学院入試はインターネット出願で行います。本学ホームページから「操作手順」に従って出願してください。出願登録は出願開始日の3日前から可能です。なお、合格後の入学手続の登録、入学後の各種登録・申請も、パソコンでインターネットを利用できる環境が必要となりますので、ご準備ください。

インターネット出願はこちらのアドレスから▶▶▶<http://www.toyo.ac.jp/site/gs/ad-index.html>
本要項に変更が出た場合もこちらのアドレスでお知らせします。



東洋大学

目 次

入試日程・手続等

入学定員等	1
入試日程	1
専攻別アドミッションポリシーについて	2
出願資格	4
出願資格の事前審査	5
一般入試における資格の「事前認定制度」について	5
出願手続	6
受験上の注意事項	8
試験当日、交通機関に乱れが生じている場合	8
学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項	8
受験生の皆さんへお願い	8
試験時間中の注意事項	9
合格発表	10
入学手続	10
納付金	11
入学手続後の納付金の返還について	11

選考方法・試験時間・科目等

理工学研究科、学際・融合科学研究科、総合情報学研究科

博士前期課程	一般入試	12
博士前期課程	社会人入試・外国人留学生入試	13
博士後期課程	一般入試	14
博士後期課程	社会人入試・外国人留学生入試	15

出願書類一覧

東洋大学教育ローン

キャンパスマップ・川越キャンパス案内図

【個人情報の取り扱いについて】

出願に際して提出された住所、氏名、その他の個人情報は、①出願受付、②入学試験実施、③合格発表、④入学手続、⑤入学前の事務教育等と、これらに付随する事項を目的として使用します。なお、これらの業務の一部を、東洋大学が指定した業者に委託します。業務委託にあたり、委託先に対して、提供して頂いた個人情報を提供することがあります。

他の研究科の入試要項および科目等履修生・大学院研究生・外国人研修生の出願についての入試要項は、別に作成しております。希望者は下記宛にお問い合わせください。

文学、社会学、法学、経営学、経済学、国際学、国際観光学、社会福祉学研究科
・・・大学院教務課 TEL.03-3945-7250
理工学、学際・融合科学、総合情報学研究科・・・川越事務部教学課 TEL.049-239-1313
生命科学、食環境科学研究科・・・板倉事務課 TEL.0276-82-9119
ライフデザイン学研究科・・・朝霞事務課 TEL.048-468-6402
情報連携学研究科・・・赤羽台事務課 TEL.03-5924-2602

研究科・専攻・入学定員

研究科	専攻	博士前期課程	博士後期課程	長期履修	授業形態	入学時期
理工学研究科	機能システム専攻	15名	3名	有	昼間開講 セメスタ制 (授業半年完結)	4月入学 秋入学
	生体医工学専攻	18名	3名			
	電気電子情報専攻	11名	3名			
	応用化学専攻	12名	3名			
	都市環境デザイン専攻	8名	—			
	建築学専攻	14名	—			
	建築・都市デザイン専攻	—	3名			
学際・融合科学研究科	バイオ・ナノサイエンス融合専攻	12名	4名	無		
総合情報学研究科	総合情報学専攻	15名	3名	有		

※長期履修制度の申請方法等詳細はホームページ (<http://www.toyo.ac.jp/site/gs/77427.html>) でご確認ください。

入試日程

2017年秋・2018年4月の入学試験の日程は下記のとおりですが、詳細については、各研究科の入試内容を参照してください。

【博士前期課程、博士後期課程】一般入試・社会人入試・外国人留学生入試

2017年秋入学のための入試

◆2017年8月試験◆

研究科	専攻	出願期間	試験日	合格発表日	手続期間
理工学	全専攻	2017年 7月18日(火) ～7月25日(火)	2017年 8月26日(土)	2017年 8月30日(水) ※書類発送	2017年 8月30日(水)～9月6日(水)
学際・融合科学					
総合情報学					

2018年4月入学のための入試

◆2017年8月試験◆

研究科	専攻	出願期間	試験日	合格発表日	手続期間
理工学	全専攻	2017年 7月18日(火) ～7月25日(火)	2017年 8月26日(土)	2017年 9月6日(水) ※書類発送	[第1次手続] 2017年 9月6日(水)～9月13日(水)
学際・融合科学					[第2次手続]
総合情報学					2018年 2月28日(水)～3月7日(水)

◆2018年2月試験◆

研究科	専攻	出願期間	試験日	合格発表日	手続期間
理工学	全専攻	2018年 1月5日(金) ～1月11日(木)	2018年 2月17日(土)	2018年 2月28日(水) ※書類発送	2018年 2月28日(水)～3月7日(水)
学際・融合科学					
総合情報学					

※2018年秋入学以降の入試については、2018年度発行の入学試験要項にてお知らせします。

専攻別アドミッションポリシー（入学受入れ方針）について

研究科	入学者に求める能力・資質・適性等	
理 工 学	<p>理工学研究科では、本学の建学の精神である「諸学の基礎は哲学にあり」を重視するとともに、理学に基づいた基礎的な自然科学の法則や考え方を理解し、それを科学・技術の分野に応用することにより、環境と調和のとれた高度な専門能力・創造力・人間性豊かな倫理観を備えた人材を養成する。博士前期課程においては高度な専門的職業人材および教育者の養成、博士後期課程においては研究者の養成に重点をおく。</p> <p>理工学研究科が望む学生像</p> <p>理工学研究科では、設立の趣旨、教育理念・目標に基づき、次のような人材を求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理工学研究科が掲げる理念と目的に共感し、これを遂行するための基本的能力と意欲をもつ人。 ・自然科学分野における基礎的な教養を身につけており、かつ特定の専門分野において十分な基礎学力を備えている人。また、それらをもとに論理的に思考する姿勢と能力をもっている人。 ・創造的に新しい世界を開拓しようとする意欲と実行力に満ちた人。 ・研究活動に必要な英語力、コミュニケーション能力を身につけている人。 ・積極的に研究課題に取り組む意欲と探究心に溢れている人。 	
	専攻名	専攻でのアドミッション・ポリシー(求める学生像)
博士前期課程	機 能 シ ス テ ム	諸力学、数学、電磁気学等にわたる十分な基礎的学力を有し、問題探索および解決能力を修得するに際し、強い意欲と困難を乗り越える強靱な意志を有する者。
	生 体 医 工 学	数学、生物学、物理学または化学の基礎的学力を有し、問題設定・解決能力を修得することに強い意欲を有する者。
	電 気 電 子 情 報	エネルギー・制御、エレクトロニクス、情報通信などの専門分野における基礎的な学力を有し、問題設定・解決能力を修得することに強い意欲を有する者。
	応 用 化 学	化学と専門英語の基礎学力を十分に持ち合わせ、勉学および研究に情熱と意欲を有する者。
	都 市 環 境 デ ザ イ ン	土木工学・環境学などの専門領域における基礎的な学力を有し、問題設定・解決能力を修得することに強い意欲を有する者。
	建 築 学	建築学・都市工学・環境学の専門領域における基礎的な学力を有し、先端の知識と技術、建築設計手法、マネジメント手法を体系的に修得することに強い意欲を有する者。
博士後期課程	機 能 シ ス テ ム	機械融合分野における先端メカトロニクス領域と機械科学分野における材料・基礎諸力学等の見識と創造的な研究能力を有するとともに、広範な視野を持ち、問題設定・解決能力および異分野間の仲立ちとなり得るリーダー的資質を体得することに強い意欲を有する者。
	生 体 医 工 学	生物科学分野における基礎領域と医工学分野の先端応用領域における知識と創造的な研究能力を有し、広い視野をもち、問題設定・解決能力およびリーダーシップを備えることに強い意欲を有する者。
	電 気 電 子 情 報	エネルギー・制御、エレクトロニクス、情報通信の各分野、あるいはそれらの境界領域や融合領域における確かな知識と研究能力を有し、問題設定・解決能力および問題解決へ向けてのリーダーシップを備えることに強い意欲を有する者。
	応 用 化 学	化学と英語の学力を十分に持ち、新規の学問分野にチャレンジできる積極性と十分な基礎学力を有する者。
	建 築 ・ 都 市 デ ザ イ ン	建築学・土木工学・都市工学・環境学などの専門領域における確かな知識と研究能力を有し、課題設定・解決能力および問題解決へ向けてのリーダーシップを備えることに強い意欲を有する者。

研究科	入学者に求める能力・資質・適性等
学 際 ・ 融 合 科 学	<p>1. 求める学生像</p> <p>〔博士前期課程〕 在籍中にバイオ・ナノサイエンス融合分野の基礎となる学問および研究の核となる先端の実験技術を修得し、バイオ・ナノサイエンスの先端分野を国内外の研究者と協力しながら研究を進める熱意と資質を有する人材を歓迎する。</p> <p>〔博士後期課程〕 在籍中に博士前期課程で修得したものをさらに発展させ、バイオ・ナノサイエンスの先端分野を主導する第一線の研究者となる能力を獲得し、国内外の研究者と活発に協力しながら研究を進める熱意と資質を有する人材を歓迎する。物理学、化学、電子工学など異分野の学生や社会の研究現場で修得した知識や技術を有する社会人の入学も大いに歓迎する。</p> <p>2. 当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準</p> <p>〔博士前期課程〕 本学学内からの進学予定者に関しては、学部までの教育は、既存の生命科学部、あるいは理工学部で受けることになるが、博士前期課程においてバイオ・ナノサイエンスの先端分野の研究を遂行するための基本的能力（英語力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、論理思考能力）と意欲（科学的探究心、研究企画力）を学部教育、特に最終年度における卒業研究を通じて身につけることを期待する。よって、学内進学者については、学内選抜（面接、筆記、書類審査等）により選考する。また、飛び級による進学者に対して、一般入学試験への受験を認める。飛び級希望者の受験の可否については、学部の学業成績およびプレゼンテーション、面接の実施により慎重に判断し、決定する。本学以外の国内学部卒業者（卒業予定者）には面接、筆記、書類審査にて、また海外からの進学希望者に対しては、書類審査で選考する。選考方法としては、研究分野、研究計画などを複数の担当教員により総合的に判断し、決定する。可否の判定基準の中心になるものは、研究において最も重要な「研究意欲」である。研究が学際的・国際的であることから、日本人・外国人留学生・社会人を問わない。日本語ができない者に対しては、英語の書類にて選抜する。</p> <p>〔博士後期課程〕 基本的には、博士前期課程に準ずる。即ち、学内外、国内外を問わず、博士後期課程においてバイオ・ナノサイエンスの先端分野の研究を遂行するための基本的能力（英語力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、論理思考能力）と意欲（科学的探究心、研究企画力）を入学までに身につけることを期待する。国内大学院修了者（修了予定者）には面接、筆記、書類審査にて、また海外からの進学希望者に対しては、書類審査で選考する。選考方法としては、研究分野、研究計画などを複数の担当教員により総合的に判断し、決定する。修了後にはバイオ・ナノサイエンスの先端分野を主導する第一線の研究者たるべく、より一層高い旺盛な「研究意欲」が求められる。</p>
総合情報学	<p>入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。</p> <p>〔博士前期課程〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合情報学に関わる複数の専門分野の知識のある者 ・専門知識を実際の問題に適用する過程を通じて人間的に成長するとともに、以って総合情報学の確立に貢献する意欲のある者 ・自らの研究分野を説明できる英語能力及び情報処理技術を応用する能力のある者 <p>〔博士後期課程〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合情報学のテーマに関わる社会背景や関連分野の広い知識のある者 ・総合情報学の発展に寄与したいという意欲のある者 ・必要に応じてプログラムが書ける情報処理能力、英語で論文を執筆する能力及び研究を遂行する能力のある者

出 願 資 格

1. 博士前期課程

博士前期課程に出願することのできる者は、次の各号の1つに該当する者です。

ただし、2017年秋入学のための志願者は2018年3月31日を2017年9月30日と読み替えてください。

- (1) 学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者および2018年3月31日までに卒業見込の者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者および2018年3月31日までに授与される見込の者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および2018年3月31日までに修了見込の者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および2018年3月31日までに修了見込の者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したものに限り）を有する者として当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの当該課程を修了した者および2018年3月31日までに修了見込の者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限り）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了することおよび当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者および2018年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者および2018年3月31日までに修了見込の者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 大学に3年以上在学した者で、本大学院において、所定の単位を優秀な成績をもって修得したものと認められた者
- (10) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者若しくは外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者で、本大学院において、所定の単位を優秀な成績をもって修得したものと認められた者
- (11) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したものに限り）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの当該課程を修了した者で、本大学院において、所定の単位を優秀な成績をもって修得したものと認められた者
- (12) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院において当該者を大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- (13) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者

2. 博士後期課程

博士後期課程に出願することのできる者は、次の各号の1つに該当する者です。

ただし、2017年秋入学のための志願者は2018年3月31日を2017年9月30日と読み替えてください。

- (1) 修士の学位を有する者および2018年3月31日までに授与される見込の者
- (2) 専門職学位を有する者および2018年3月31日までに授与される見込の者
- (3) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者および2018年3月31日までに授与される見込の者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者および2018年3月31日までに授与される見込の者
- (5) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者および2018年3月31日までに授与される見込の者
- (6) 学校教育法施行規則第156条第4号の規定により、国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者および2018年3月31日までに授与される見込の者
- (7) 学校教育法施行規則第156条第5号の規定による外国の学校等において、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、本大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者

3. 外国籍の方の出願資格

在留資格が「出入国管理及び難民認定法」による「短期滞在」の者は、4月入学の場合は2月入試を、秋入学の場合は8月入試を受験できません。

出 願 資 格 の 事 前 審 査

□事前審査とは

P4の「出願資格」のうち下記に該当する者が、東洋大学「大学院入学試験」の出願をするにあたり、事前に審査を受けなければならない制度です。下記に該当する者は、この事前審査に合格した場合に限り、「大学院入試」の出願が認められます。

○博士前期課程の場合・・・出願資格(9)～(13)

○博士後期課程の場合・・・出願資格(7)～(9)

なお、博士前期の出願資格(1)～(8)、博士後期課程の出願資格(1)～(6)に該当する者は、東洋大学大学院入学試験に出願するにあたって以下の「事前審査」の手続をとる必要はありません。

□審査書類の提出期限・提出方法

○提出期限

受験希望試験の実施月	提出期限
2017年8月	2017年6月30日(金)
2018年2月	2017年11月2日(木)

○提出方法

- ・事前審査提出書類一式を、「書留・速達」で郵送してください(消印有効)。
- ・封筒の表書きに「事前審査書類在中」と朱書きしてください。
- ・郵送以外の出願は受け付けません。

□問い合わせ先・審査書類の提出先

〒350-8585 埼玉県川越市鯨井2100 東洋大学川越事務部教学課 大学院担当 TEL049-239-1313

事前審査の必要がある者は、書類提出の前に、電話でお問い合わせください。

□提出書類

「出願資格事前審査申請書」と必要な「添付書類」を提出してください。

本学大学院入試 Web サイト(<http://www.toyo.ac.jp/site/gs/ad-index.html>)よりファイルをダウンロード・プリントアウトしてください。

※必要な「添付書類」は、申請する研究科の「出願資格事前審査申請書」の記載を参照してください。

一般入試における資格の「事前認定制度」について

□事前認定制度とは

総合情報学研究科総合情報学専攻博士前期課程の一般入試受験希望者のうち、下記の資格を認定された者は、出願の際に専門科目を1科目で受験することができる制度です。なお1科目受験では、選択科目の得点を2倍として判定します。

□対象となる資格

- 基本情報処理技術者試験以上
- ウェブデザイン技能検定試験2級以上
- 社会調査士(または取得条件を満たした者)
- 教員免許(または取得条件を満たした者)

□提出書類

「資格認定申請書」と必要な「添付書類」を提出してください。

本学大学院入試 Web サイト(<http://www.toyo.ac.jp/site/gs/ad-index.html>)よりファイルをダウンロード・プリントアウトしてください。

※必要な「添付書類」は、「資格認定申請書」の記載を参照してください。

□審査書類の提出期限・提出方法・問い合わせ先・審査書類の提出先

P5の「出願資格の事前審査」に準じる。なお、提出書類の封筒の表書きは「事前認定書類在中」と朱書きしてください。

※ 事前審査・事前認定制度で提出された書類、証明書は返却いたしませんので、ご注意ください。

出 願 手 続

出願にあたっては、「インターネット(web)入力」、「出願書類の郵送」、「入学検定料の振込」の全ての手続が必要となります。

1. 出願書類

出願書類は専攻・試験区分によって異なりますので、《P.16~P.17》の出願書類一覧で確認してください。本学所定用紙に関しては本学Webサイト(<http://www.toyo.ac.jp/site/gs/ad-index.html>)の「インターネット出願」のバナーをクリックし「東洋大学大学院 2017/2018 年度インターネット出願ガイダンス」のページにアクセスし、「募集要項」をクリックし、掲載されている書式を使用してください。

- (1) 志願票①・②・③ ※③は外国籍の方のみ (①②③はインターネット画面から出願登録後に、印刷できます)
 - 「東洋大学大学院 2017/2018 年度インターネット出願ガイダンス」の中の「出願登録に進む」をクリックし、受験者情報入力画面で必要な情報を入力後、印刷してください。入学検定料は、P.7の「入学検定料」の項目をよく読んで支払ってください。
 - 氏名等の表記はJISの第2水準とします。(例：高→高、斎→齊、邊・邊→辺など)
 - 写真については、志願票①・②の所定の場所に、以下の点を注意し、写真を2枚貼付してください。
 - ・出願時点から3ヶ月以内に撮影したもので、たて4cm×よこ3cmの上半身(肩から上)・脱帽・正面・背景の無い光沢カラー写真(服装自由)
 - ・絹目仕上げ(つや消し)、白黒写真、スナップ写真は不可
 - ・受験時にメガネ等を着用する者は、メガネ等を着用して撮影したもの
 - ・裏面に、志願票に印字された整理番号、氏名を記入してください。(裏面がシールのもは記入しなくても可)
 - ・入学後、学生証用として大学院修了まで使用します。
- (2) 履歴調書(本学所定用紙)
- (3) 調査書(本学所定用紙)
- (4) 入学後の研究計画書(本学所定用紙)
志願者は全員、入学後の研究計画書を提出してください。
- (5) 在職証明書(本学所定用紙)
本学所定用紙以外の書式での提出も認めます。ただし、記載内容については本学所定用紙の書式に準じて作成してください。
- (6) 承諾書(本学所定用紙)
本学所定用紙以外の書式での提出も認めます。ただし、記載内容については本学所定用紙の書式に準じて作成してください。
- (7) 成績証明書、卒業(見込)証明書、修了(見込)証明書(いずれも最新の内容が記載された本書)
博士前期課程志願者:最終出身大学学部の成績証明書と卒業(見込)証明書
大学院を修了(見込)している場合は、大学院の成績証明書と修了(見込)証明書を別途提出してください。

博士後期課程志願者:最終出身大学院の成績証明書と修了(見込)証明書

※改姓している方は、戸籍抄本等改姓が確認できる証明書を提出してください。

※本学の学部(通信教育課程・短期大学を除く)から大学院へ進学する場合、並びに本学の大学院博士前期(修士)課程から博士後期課程に進学する場合、入学金は免除となります。そのことを証明する書類として必ず卒業(見込)・修了(見込)証明書を提出してください。

外国の大学・大学院を卒業(修了)した場合

上記証明書に取得学位が明記されていない場合は、「取得学位が明記されている証明書」を提出してください。編転入をしている場合は、最終出身大学の成績証明書・卒業(見込)証明書だけでなく、編転入前の大学の成績証明書・在籍期間がわかる書類(成績証明書に在籍期間が記載されていれば不要)も併せて提出してください。また、証明書等はオリジナルのもの(コピーは不可)で、日本語または英語で記載されたものを提出してください。それ以外の言語で書かれている場合は、必ず公的機関または日本語学校等が証明する和文または英文翻訳を添付してください。

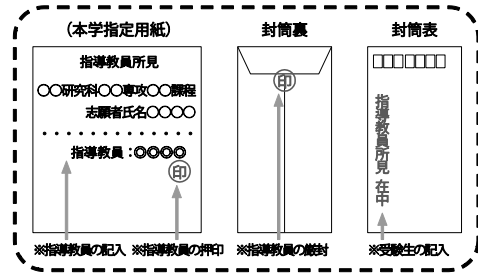
大学評価・学位授与機構で出願資格を得る場合

大学評価・学位授与機構で出願資格を得る者は、学位授与証明書(学位授与申請受理証明書)、成績証明書等学位取得に係る証明書すべてを提出してください。

- (8) 住民票の写し(外国籍の方のみ提出) ※在留資格、在留期間、在留カード番号が記載されているもの
居住している市区町村の各役所で出願時点の3ヵ月以内に発行を受け、必ず最新の内容を提出してください。
※ マイナンバーの記載がないもののみ受け付けます。

(9) 指導教員所見（本学所定用紙）※理工学研究科、総合情報学研究科のみ 海外の大学を卒業した外国籍の方は不要

1. 受験生は用紙（A4 サイズ：1 枚）と封筒（サイズ指定無し：1 通）を準備し、研究科名や氏名等を記入してください。
 2. 指導教員に用紙と封筒を渡し、所見の作成を右記の図を参考にお願ひしてください。
 3. 指導教員が所見作成、封筒に入れて厳封したものを受け取ってください。
 4. 受け取った所見入り封筒は、開封せずに出願書類と同封して提出してください。
- ※ 指導教員所見の作成は、卒論、修論担当教員のいずれかに依頼してください。
※ 指導教員所見の提出ができない場合は、その理由を記載した用紙を提出してください。



■健康状況

出願書類として、健康診断書の提出は必要ありません。ただし、疾病・疾患および障がいなどのために、大学院生活に支障があると考えられる場合、または、日常的に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験するなど、受験上特別な措置を希望する場合は、出願手続前に各キャンパスの入試に関する問い合わせ先まで相談してください。

2. 入学検定料35,000 円

※振込期間は出願期間を確認し、その期間内に振り込んでください。

- (1) 入学検定料はインターネット出願登録後、最寄りのコンビニエンスストア（セブン・イレブン、ローソン、ファミリーマート、サークルK、サンクス、スリーエフ、ミニストップ、デイリーヤマザキ、セイコーマート）または、ペイジー（「Pay-easy」マークのある全国のゆうちょ銀行や各銀行等のATM）で出願期間内に納入してください。
- (2) 入学検定料の納入の際には、入学検定料の他に決済手数料等が別途かかります。
- (3) 金融機関の窓口での取り扱いは行いません。
- (4) 一旦納入された入学検定料は事情の如何にかかわらず返還いたしません。
- (5) 家族や知人が代理で手続をする場合も、必ず志願者本人の情報を入力してください。
- (6) コンビニエンスストアでの支払いは、土日・祝日問わず、営業時間内であればいつでも可能です。ただし出願期間最終日のインターネット出願サイトでの申込は23：00までとなりますので、ご注意ください。
- (7) 出願期間内に入学検定料の納入が完了しても、郵送の消印が出願期間最終日を過ぎている場合には、受験できません。
- (8) 国外からの入学検定料の振込はできません。
- (9) 入学検定料収納証明書（領収書等）は必ず保管してください。収納証明書、領収書等のコピーを送付する必要はありません。

3. 出願方法

- ◎出願書類一式を本学宛に「書留・速達」で郵送してください。（消印有効）
- ◎郵送以外の出願は受け付けません。
- ◎封筒は市販の角2号（所定用紙（A4）を折らずに封入できるサイズ）を用意し、所定の封筒貼付用宛名シートを表面にしっかりとのり付けしてください。
- ◎出願書類一式が角2号封筒に入らない場合は、封入可能な封筒あるいは箱等を用意し、所定の封筒貼付用宛名シートを表面にしっかりとのり付けして、郵送してください。
- ◎封筒に封をする前に必要書類が全て揃っているかを「出願書類チェックリスト」で必ず確認してください。
- ◎必ず入学検定料を納入した後、出願してください。出願書類が郵送されても入学検定料の納入がない場合、または入学検定料が納入されても、出願書類の郵送消印日が出願期間を過ぎている場合は、受験できません。
- ◎出願手続の流れはインターネット上の下記URLから「インターネット出願」のバナーをクリックし「東洋大学大学院2017/2018年度インターネット出願ガイダンス」のページをよくお読みください。
<http://www.toyo.ac.jp/site/gs/ad-index.html>

4. 出願の際の注意事項

※出願書類および入学検定料は、返還いたしません
※出願後の研究科・専攻の変更（コースが明示されている専攻のコース変更も含む）および受験科目（選択）等の変更は一切認めません

5. 受験票の送付

- (1) 受験票は全員の出願書類の審査が終了してから発送いたします。
- (2) 試験日の2日前までに受験票が届かない場合は、下記までお問い合わせください。
・理工学研究科、学際・融合科学研究科、総合情報学研究科…川越事務部教学課 TEL. 049-239-1313
〈受付時間〉(月)～(金) 9：30～13：00 14：00～16：45、(土) 9：30～12：45
※日曜・祝祭日は取り扱いいたしません。

受験上の注意事項

1. 試験会場

- (1) 理工学研究科、学際・融合科学研究科、総合情報学研究科…川越キャンパス（埼玉県川越市鯨井 2100）
- (2) 試験会場は当日、構内の立看板等で掲示し、案内いたします。
- (3) **試験開始 30 分前には試験場にお集まりください。**受験上の注意事項等について説明いたします。
- (4) 試験開始後 20 分を経過した場合には受験を認めません。

2. 受験票を必ず持参してください。

3. 試験教室では、すべて試験監督者の指示に従ってください。また試験会場・試験教室において、他の受験生に迷惑となるような行為は禁止します。従わない場合は不正行為とみなし退室させることがあります。
4. 外国語の試験科目で、辞書の使用を認められた科目については、書籍形式の辞書のみで、「電子手帳」等その他の辞書（専門用語辞書等）の使用はできません。
なお、専門科目では、関数機能付電卓の持込は可能です。
5. 各研究科の面接については、監督者から指示を受けてください。
6. 志願者数により、面接開始時間が変更となる場合があります。その際は受験票に記載してお知らせします。
7. 試験会場での携帯電話・スマートフォンの使用を禁止します。入室前に予め電源をお切りください。
8. 試験会場に時計はありません。時計（時計機能だけのもの）を持参してください。（携帯電話・スマートフォン・腕時計型端末・IC レコーダー等の電子機器類を時計代わりに使用することはできません）なお、時計の貸し出しは行っていません。

試験当日、交通機関に乱れが生じている場合

試験当日、台風の接近・雪などの天候不良、事故・地震等により交通機関の乱れが生じている場合でも、まず試験会場に向かってください。本学では追試験・再試験は行いませんので、原則その日のうちに必ず入学試験は行われるものと理解してください。

各試験会場への主要公共交通機関（バス・自動車を除く）の乱れなどにより、多数の受験者が入学試験開始後に間に合わないかと大学が判断した場合に限り、試験開始時刻を遅らせることがあります。

ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。

詳細については措置内容が決定後、大学院ホームページ (<http://www.toyo.ac.jp/site/gs/>) に随時掲載しますので、各自ご確認をお願いします。

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

入学試験実施にあたり、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ等）の蔓延が確認された場合、関係行政機関等の対応を考慮した上で、試験実施について具体的な措置をとる場合があります。

また、感染症に罹患し治癒していない受験生が確認された場合、同じく関係行政機関等の対応を考慮した上で、試験実施について具体的な措置をとる場合もあります。

なお、試験実施について措置がとられた場合でも、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。

詳細については措置内容が決定後、大学院ホームページ (<http://www.toyo.ac.jp/site/gs/>) に随時掲載しますので、各自ご確認をお願いします。

受験生の皆さんへお願い

- (1) 咳・くしゃみができる方は、マスクを着用する、咳エチケットを守るなど周囲の方への感染防止にご配慮ください。
- (2) 入学試験会場での感染を防ぐため、必要に応じて各自マスクを用意してください。

試験時間中の注意事項

【受験票等所持品の扱い】

1. 「受験票」は必ず机の上に置いてください。
2. 「受験票」の他に試験時間中、机の上に置けるものは、「黒鉛筆」「シャープペンシル」「プラスチック製の消しゴム」「鉛筆削り（電動式を除く）」「時計（時計機能だけのもの）」「眼鏡」「使用が許可されている辞書」です。
3. 「下敷き」「そろばん」「グラフ用紙」「定規」などの用具は使用できません。
4. アラーム機能のついた時計は、試験教室に入る前に必ずアラームの設定を解除してください。
5. 携帯電話・スマートフォン・腕時計型端末・ICレコーダー等の電子機器類は、試験教室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切ってかばん等に入れておいてください。試験時間中にこれらをかばん等にしまわず、身に付けていたり、手に持っているとは不正行為とみなされることがあります。アラームは、設定を解除しないと電源を切っても鳴ることがありますので、注意してください。なお、試験時間中にかばん等の中で携帯電話・スマートフォン・腕時計型端末等の着信音やマナーモードの振動音などが発生した場合には、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を教室外に持ち出し、実施本部で当該試験時間終了まで保管します。
6. 「耳せん」は、試験監督者の指示等が聞き取れないことがありますので、使用できません。
7. 試験教室内で、「英文字」「地図」「格言」等がプリントされている衣服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。
8. 「ハンカチ」「ティッシュペーパー」「座布団」「ひざ掛け」「目薬」の使用を希望する者は、試験監督者に申し出て許可を受けてから使用してください。

【試験時間中の退室】

試験時間中は試験終了までは退室を認めません。試験中の発病またはトイレ等やむを得ない場合には、手を挙げて試験監督者の指示に従ってください。

ただし、一時退室が認められた場合でも、一時退室した分の試験時間の延長は認められません。

【試験時間中の試験監督者の指示】

試験時間中は、試験監督者の指示に従ってください。従わない場合は不正行為とみなし、退室させることがあります。なお、その場合における入学検定料返還の求めには応じません。

【不正行為】

次の行為は不正行為となることがあります。不正行為となった場合は、それ以降の受験はできません。

また、既に受験した科目の受験も無効となります。なお、その場合における入学検定料返還の求めには応じません。

1. カンニング（カンニングペーパー・参考書・使用が許可されていない辞書・他の受験生の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
2. 「下敷き」「そろばん」「グラフ用紙」「定規」など、使用を禁じられた用具を使用して問題を解くこと。
3. 試験開始の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
4. 試験終了の指示に従わず、筆記用具や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
5. 試験時間中に、出題内容、あるいは解答を教えるなど他の受験生が有利となるような行為をすること。
6. 試験時間中に携帯電話・スマートフォン・腕時計型端末等を身に付けていること。
7. 試験時間中に携帯電話・スマートフォン・腕時計型端末等や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすこと。
8. 試験会場において他の受験生の迷惑となる行為をすること。
9. 試験会場において試験監督者等の指示に従わないこと。
10. その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

【その他の注意事項】

1. 試験時間中に監督者が受験者の顔の確認を行います。「マスク」や「帽子」を着用している場合、本人確認のため、一時的に外すよう指示をすることがあります。
2. 試験時間中に日常的な生活騒音等（監督者の巡視による足音・監督業務上必要な打合せ、航空機・自動車・風雨・空調の音、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、周囲の建物のチャイム音など）が発生した場合でも救済措置は行いません。

合格発表

- (1) 合格者には、合格通知を合格発表当日に志願票の「住所」欄に記入された住所宛に速達で郵送します。合格についての問い合わせには、一切応じません。掲示発表は行いません。合格発表日は必ずしも受験生の手元に合格書類が到着する日ではありません。
※合格書類には入学手続きに必要な ID・パスワードが記載されています。SNS 等で合格書類を公開しないようにしてください。
- (2) 出願後に住所が変更になった場合は、速やかにご連絡ください。
- (3) 電話やメール等による問い合わせには、一切応じません。
- (4) 本学の正式な合格発表は、合格書類の発送をもって行いますが、補助手段として、インターネットによる合格発表も行っておりますので、下記「オンライン合否発表」をよく読んで、利用してください。

◎オンライン合否発表

Web を利用した合否照会方法

本学では Web を利用した合否照会が可能です。志願者は公開期間内にインターネットにより本学 Web サイトに接続して、「オンライン合否発表」のバナーをクリックし、入力画面にしたがって検索条件を入力することで合否を確認することができます。

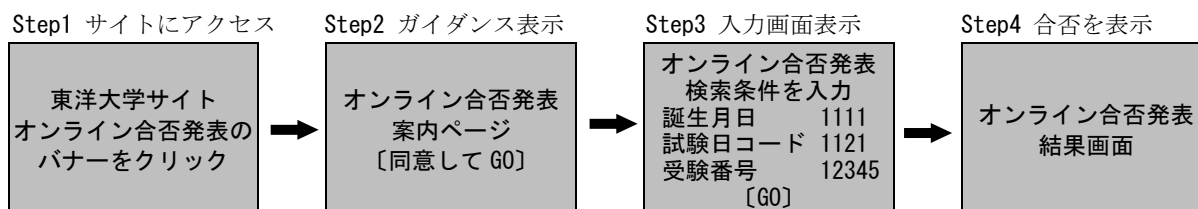
合格発表当日の 14:00 から照会が可能です。

<http://www.toyo.ac.jp/site/gs/ad-index.html>

個人結果照会

- ・受験番号（5 桁）と試験日コード（11 月 21 日の場合＝“1121”）を事前に確認ください。
- ・上記サイトにアクセスし、「オンライン合否発表」のバナーをクリックしてください。
- ・下記の画面に従って、操作を進めてください。
- ・利用期間は、合格発表日から入学手続き締切日までとなります。
- ・合格発表の開始直後は画面の表示が遅くなる場合があります。

【パソコン画面の流れ】



入学手続

合格者は、指定した入学手続き締切日までに下記の手続を行ってください。

- ①入学手続用振込用紙に記載された納付金を、金融機関の窓口で振り込んでください。
- ②本学 Web サイトで、指示に従いオンライン入学手続の登録を行ってください。

<http://www.toyo.ac.jp/site/gs/ad-index.html>

手続締切日までに上記①②の手続が完了しない場合は、当該合格者に入学の意思がないものとみなし、締切後の入学手続は一切受け付けません。詳しくは、合格発表日に送付される「入学手続のしおり」でご確認ください。

※納入した入学金および提出した書類は、返還いたしません。

納 付 金

下記の金額は、納入予定額のため、変更になる場合があります。

(2018年度予定)

(単位：円)

研究科			学費				計
			入学金	授業料	一般施設 設備資金	実験 実習料	
理 工 学 研 究 科 学 際 ・ 融 合 科 学 研 究 科 総 合 情 報 学 研 究 科	博士前期 課程	本学出身者※	—	550,000	130,000	120,000	800,000
		他大学出身者	270,000	550,000	130,000	120,000	1,070,000
	博士後期 課程	本学出身者※	—	550,000	80,000	120,000	750,000
		他大学出身者	270,000	550,000	80,000	120,000	1,020,000

※本学の学部（通信教育課程・短期大学を除く）から大学院に進学する場合、入学金は免除となります。

※本学の大学院博士前期（修士）課程から博士後期課程に進学する場合、入学金は免除となります。

1. 入学金の納入は初年度のみです。
2. 納付金は、入学手続時一括納入が原則です。ただし、授業料・一般施設設備資金・実験実習料は年2回の分割納入ができます。
3. 納入した入学金および提出した書類は返還いたしません。
4. 長期履修制度の納付金等の詳細はホームページにてご確認ください。

入学手続後の納付金の返還について

本学への入学手続を完了した後に、やむを得ない理由により入学辞退を希望し、期日までに本学が定める手続により届出をした者には、入学金を除く納付金を返還します。

詳細については、合格通知に同封する「入学手続のしおり」にてご確認ください。

2017年秋入学生

提出期限：2017年9月15日（金）午後5時

返還予定日：2017年10月下旬

2018年4月入学生

提出期限：2018年3月31日（土）午後5時

返還予定日：2018年4月下旬

問い合わせ先・提出先：経理部財務課 TEL. 03-3945-7305

◆理工学研究科、学際・融合科学研究科、総合情報学研究科◆

——博士前期課程——

〔一般入試①〕

	選考方法	専攻	試験時間・科目		
			①10:00～11:00 英語	②11:20～13:00 ※専門	③14:00～ 面接
理工学研究科	英語専門面接 (口述試験)	機能システム	※試験会場にて2科目を選択のこと 材料力学、機械力学、熱力学、流体力学、制御工学、計測工学		
		生体医工学	※試験会場にて2科目を選択のこと 生理学、医工学、免疫学、バイオメカニクス、医用電子工学、人間工学、流体力学、生体情報学		
		電気電子情報	※試験会場にて2科目を選択のこと 数学(応用解析学、線形代数学、論理数学)、電磁気学、電気回路、電子回路、プログラミング(Cプログラミング、数値計算法)		
		応用化学	※試験会場にて3科目を選択のこと 物理化学、分析化学、有機化学、無機化学、生化学、化学工学		
		都市環境デザイン	※試験会場にて2科目を選択のこと コンクリート工学、構造力学、地盤工学、水環境工学、環境創成学、土木計画学、測量学、都市マネジメント学、水工水理学		
		建築学	※試験会場にて2科目を選択のこと 建築計画・意匠、構造力学、環境設備、建築構法・建築生産、都市計画、建築一般		
学際・融合科学研究科	選考方法	専攻	試験時間・科目		
	英語面接 (口述試験)	バイオ・ナノサイエンス融合	①10:00～11:00 英語	②11:10～ 面接	
総合情報学研究科	選考方法	専攻	試験時間・科目		
	英語専門面接 (口述試験)	総合情報学	①10:00～11:00 英語	②11:20～13:00 ※専門	③14:00～ 面接
			※試験会場にて2科目を選択のこと 情報数学、情報システム、経営情報、環境情報、メディア情報論、メディアコンテンツ、心理情報、データ解析、スポーツサイエンス		

※英語科目については、書籍形式の辞典持込可。専門科目については、関数機能付電卓持込可。

〔一般入試②〕

総合情報学研究科	選考方法	専攻	試験時間・科目		
			①10:00～11:00 英語	②11:20～12:10 ※専門	③14:00～ 面接
	英語専門面接 (口述試験)	総合情報学	※試験会場にて1科目を選択のこと 情報数学、情報システム、経営情報、環境情報、メディア情報論、メディアコンテンツ、心理情報、データ解析、スポーツサイエンス		

※注意 英語科目については、書籍形式の辞典持込可。専門科目については、関数機能付電卓持込可。
※事前認定制度により許可された者は、インターネット出願の際に「一般入試②」を選択することが可。

〔社会人入試〕

理工学研究科	募集人員	各専攻とも若干名	
	出願資格	大学院への出願資格があることに加え、官公庁、企業等に在職していて、その官公庁、企業等の承諾を受け、入学後引き続き在職の意思があること	
	選考方法	書類審査・小論文（英語の設問を含む）・面接（口述試験）	
	試験時間・科目	①10：00～11：00 小論文	②11：10～ 面接
学際・融合科学研究科	出願資格	大学院への出願資格があることに加え、官公庁、企業等に在職していて、その官公庁、企業等の承諾を受け、入学後引き続き在職の意思があること	
	選考方法	書類審査・小論文（英語）・面接（口述試験）	
	試験時間・科目	①10：00～11：00 小論文	②11：10～ 面接
総合情報学研究科	出願資格	大学院への出願資格があること、または、本研究科で行う出願資格の事前審査に合格した者であることに加え、官公庁、企業等に在職していて、その官公庁、企業等の承諾を受け、入学後引き続き在職の意思があること	
	選考方法	書類審査・小論文（英語の設問を含む）・面接（口述試験）	
	試験時間・科目	①10：00～11：00 小論文	②11：10～ 面接

〔外国人留学生入試〕

理工学研究科	募集人員	各専攻とも若干名	
	出願資格	大学院への出願資格があることに加え、次の2つの条件を満たしている者 (1) 外国籍を有している者 (2) 受入教員の承諾のあった者	
	選考方法	書類審査・面接（口述試験）	
	試験時間・科目	①11：10～ 面接	
学際・総合情報科学研究科	出願資格	大学院への出願資格があること、または、本研究科で行う出願資格の事前審査に合格した者であることに加え、次の2つの条件を満たしている者 (1) 外国籍を有している者 (2) 受入教員の承諾のあった者	
	選考方法	書類審査・面接（口述試験）	
	試験時間・科目	①11：10～ 面接	

※文部科学省が定める日本の大学を卒業した方は対象外です。

◆理工学研究科、学際・融合科学研究科、総合情報学研究科◆

——博士後期課程——

〔一般入試〕

	選考方法	専攻	試験時間・科目	
理工学研究科		機能システム		
		生体医工学		
		電気電子情報		
		応用化学		
		建築・都市デザイン		
学際・融合科学研究科	英語面接 (口述試験)	バイオ・ナノサイエンス融合	①10:00~11:00 英語	②11:10~ 面接
総合情報学研究科		総合情報学		

※英語科目については、書籍形式の辞典持込可

〔社会人入試〕

理工学研究科	募集人員	各専攻とも若干名	
	出願資格	大学院への出願資格があることに加え、官公庁、企業等に在職していて、その官公庁、企業等の承諾を受け、入学後引き続き在職の意思があること	
	選考方法	書類審査・小論文（英語の設問を含む）・面接（口述試験）	
	試験時間・科目	①10：00～11：00 小論文	②11：10～ 面接
学際・融合科学研究科	出願資格	大学院への出願資格があることに加え、官公庁、企業等に在職していて、その官公庁、企業等の承諾を受け、入学後引き続き在職の意思があること	
	選考方法	書類審査・小論文（英語）・面接（口述試験）	
	試験時間・科目	①10：00～11：00 小論文	②11：10～ 面接
総合情報学研究科	出願資格	大学院への出願資格があること、または、本研究科で行う出願資格の事前審査に合格した者であることに加え、官公庁、企業等に在職していて、その官公庁、企業等の承諾を受け、入学後引き続き在職の意思があること	
	選考方法	書類審査・小論文（英語の設問を含む）・面接（口述試験）	
	試験時間・科目	①10：00～11：00 小論文	②11：10～ 面接

〔外国人留学生入試〕

理工学研究科	募集人員	各専攻とも若干名	
	出願資格	大学院への出願資格があることに加え、次の2つの条件を満たしている者 (1) 外国籍を有している者 (2) 受入教員の承諾のあった者	
	選考方法	書類審査・面接（口述試験）	
	試験時間・科目	①11：10～ 面接	
学際・総合情報科学研究科	出願資格	大学院への出願資格があること、または、本研究科で行う出願資格の事前審査に合格した者であることに加え、次の2つの条件を満たしている者 (1) 外国籍を有している者 (2) 受入教員の承諾のあった者	
	選考方法	書類審査・面接（口述試験）	
	試験時間・科目	①11：10～ 面接	

※文部科学省が定める日本の大学（大学院）を卒業（修了）した方は対象外です。

出願書類一覧（博士前期課程）

研究科・試験区分	提出書類	志願票 ① ②	志願票③ (外国籍の方のみ)	履歴調査書	調査書	入学後の研究計画書	在職証明書	承諾書	指導教員所見	成績証明書 (改姓している場合は戸籍抄本を添付) ・書	住民票の写し(外国籍の方のみ) ※在留資格・在留期間が記載されたもの	備考
				(所定用紙)								
総合情報学研究所 理工学研究科	一般	○	○	○	○	○			○※1	○※2	○	※1: 海外の大学を卒業した外国籍の方が受験する場合は不要 ※2: 大学評価・学位授与機構で出願資格を得る者は、学位授与証明書(学位授与申請受理証明書)、成績証明書等学位取得に係る証明書すべて
	社会人	○	○	○	○	○	○	○	○※1	○※2	○	
	外国人留学生	○	○	○	○	○				○	○	
学際・融合科学研究科	一般	○	○	○	○	○				○※2	○	※2: 大学評価・学位授与機構で出願資格を得る者は、学位授与証明書(学位授与申請受理証明書)、成績証明書等学位取得に係る証明書すべて
	社会人	○	○	○	○	○	○	○		○※2	○	
	外国人留学生	○	○	○	○	○				○	○	

出願書類一覧（博士後期課程）

研究科・試験区分	提出書類	志願票 ① ②	志願票③ (外国籍の方のみ)	履歴調査書	調査書	入学後の研究計画書	在職証明書	承諾書	指導教員所見	成績証明書 (改姓している場合は戸籍抄本を添付) ・書	住民票の写し(外国籍の方のみ) ※在留資格・在留期間が記載されたもの	備考
				(所定用紙)								
総合情報学研究所 理工学研究科	一般	○	○	○	○	○			○※1	○	○	※1 海外の大学を卒業した外国籍の方が受験する場合は不要
	社会人	○	○	○	○	○	○	○	○※1	○	○	
	外国人留学生	○	○	○	○	○				○	○	
学際・融合科学研究科	一般	○	○	○	○	○				○	○	
	社会人	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
	外国人留学生	○	○	○	○	○				○	○	

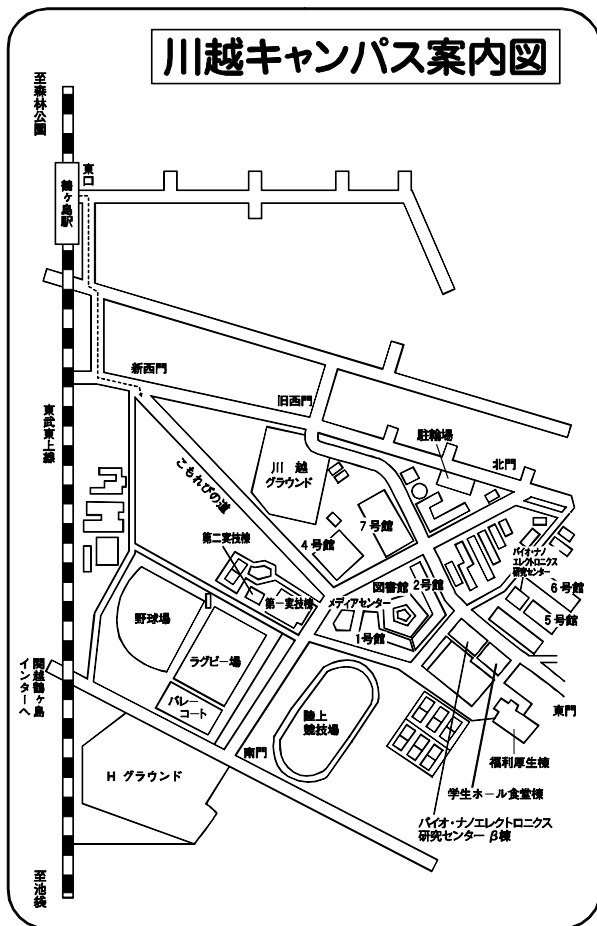
東洋大学教育ローン

本学では、入学予定者を対象に、金融機関との提携による「東洋大学教育ローン」制度を設置しております。本制度は、無担保かつ低利で指定金融機関から入学時納付金の融資を受けられるもので、東洋大学で学ぶ意志がありながら、経済的理由により就学が困難な学生に対して、入学時の経済的負担を軽減することを目的としています。

なお、本制度は東洋大学へ確実に入学する方が対象となります。また、「東洋大学教育ローン」制度は、銀行ローンですから、確実な返済計画を立てたうえでお申込ください。

東洋大学教育ローンの概要

対象者 (資格)	本学入学予定者の保護者等（原則として親） 銀行が指定する信用保証会社の保証が受けられる者（原則として保証人は不要です。） 団体信用生命保険の加入については、銀行によって異なります。																
使 途	本学に納入する納付金（学費等）、その他（銀行によって異なります。）																
融 資 額	300万円以内、500万円以内（銀行によって異なります。）																
利 率	新規融資分適用金利 各銀行の定める短期プライムレートに連動する長期貸出金利が基準となる変動金利 参考（2017年4月現在の金利：3.375%～3.975%）																
担 保	無担保																
融資期間	6ヵ月以上14年以内（銀行によって異なります。）																
返済方法	毎月元利均等返済、ボーナス併用返済可																
手続方法	東洋大学教育ローンの利用を希望する場合は、提携銀行の本・支店に保護者等が直接申込手続を行ってください。 （申込から融資実行まで、少なくとも1～2週間程度はかかります。）																
必要書類	1. 印鑑登録証明書（発行後1ヵ月以内） 2. 住民票（世帯全員記載、発行後1ヵ月以内） 3. 所得証明書 給与所得者：住民税決定通知書 自営業者：納税証明書 4. 健康保険証（写） 5. 合格通知書および入学手続用振込用紙 以上は基本的な書類ですので、詳細については各銀行にお問い合わせください。																
備 考	本学の受験票と入学試験要項および上記の必要書類を持参のうえ「東洋大学教育ローン」の申込である旨を必ず伝え、提携銀行の本・支店で融資の「仮申込」をしてください。（申込から融資まで少なくとも1～2週間程度かかりますが、各提携銀行により期日は異なります。入学手続締切日に間に合うよう、出願前に各提携銀行にご確認ください。）																
	納付金は「仮申込」の手続完了後、本学から送付する合格通知書および入学手続用振込用紙に基づき融資が実行されます。																
	その他詳細については、各提携銀行にお問い合わせください。																
	<table border="0"> <tr> <td>提携銀行</td> <td>三菱東京UFJ銀行</td> <td>みずほ銀行</td> <td>三井住友銀行</td> </tr> <tr> <td>問い合わせ先</td> <td>三菱東京UFJ銀行</td> <td>池袋支店</td> <td>TEL03-3984-2131</td> </tr> <tr> <td></td> <td>みずほ銀行</td> <td>駒込支店</td> <td>TEL03-3941-6161</td> </tr> <tr> <td></td> <td>三井住友銀行</td> <td>白山支店</td> <td>TEL03-3828-5151</td> </tr> </table>	提携銀行	三菱東京UFJ銀行	みずほ銀行	三井住友銀行	問い合わせ先	三菱東京UFJ銀行	池袋支店	TEL03-3984-2131		みずほ銀行	駒込支店	TEL03-3941-6161		三井住友銀行	白山支店	TEL03-3828-5151
提携銀行	三菱東京UFJ銀行	みずほ銀行	三井住友銀行														
問い合わせ先	三菱東京UFJ銀行	池袋支店	TEL03-3984-2131														
	みずほ銀行	駒込支店	TEL03-3941-6161														
	三井住友銀行	白山支店	TEL03-3828-5151														

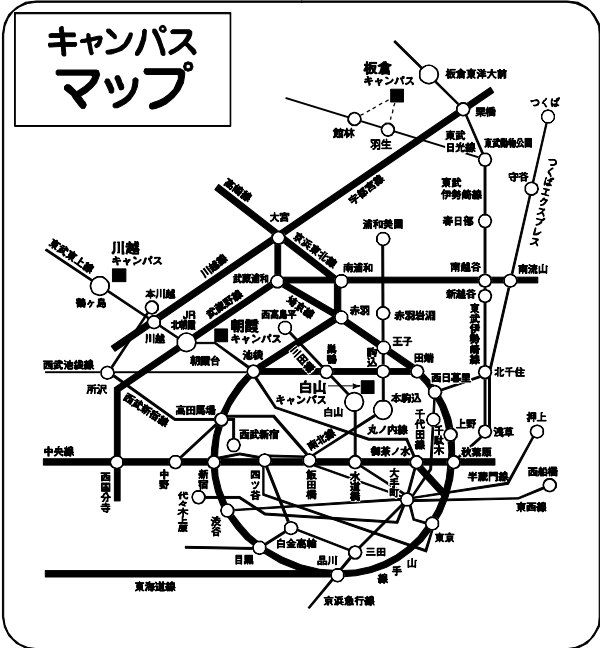


交通案内

川越キャンパス
〒350-8585
埼玉県川越市鯨井 2100
●東武東上線
「鶴ヶ島」駅下車、徒歩 10 分

入試に関する問い合わせは

理工学研究科 学際・融合科学研究科 総合情報学研究科	川越キャンパス
川越事務部教学課	TEL: 049-239-1313
文学・社会学・法学・経営学・ 経済学・国際学・国際観光学、 社会福祉学研究科	白山キャンパス
大学院教務課	TEL: 03-3945-7250
生命科学研究科 食環境科学研究科	板倉キャンパス
板倉事務課	TEL: 0276-82-9119
ライフデザイン学研究科	朝霞キャンパス
朝霞事務課	TEL: 048-468-6402
情報連携学研究科	赤羽台キャンパス
赤羽台事務課	TEL: 03-5924-2602



URL <http://www.toyo.ac.jp/site/gs/ad-index.html>